

【資料】

◆プロジェクトについて

①跳んで魅せて楽しめる、未体験の光るなわとび「MagicLoop」

ロープの部分に約 60 個の LED を内蔵し、跳ぶ速さや跳び方によって光が美しく変化するなわとびです。点滅のパターンによっては空中に絵を描くような光り方にすることもでき、スマートフォンを使って簡単に設定することが可能です。跳ぶ人も見てる人もみんなで楽しめる、新しいなわとびを体験できます。

②投げ方によって色が変わる！新感覚なフライングディスク「Actee」

日が沈み始めた頃のキャンプやお花見など大人数で集まるアウトドアで盛り上がること間違いなし！恋人とのデートにももちろん、パフォーマンスにもオススメです。フライングディスクを通して新しいコミュニケーションをとってみませんか？

③IoT 入門のためのマイコンボード「Bloccom」

「Bloccom」とは、法政大学デザイン工学部システムデザイン学科の小林尚登教授が開発したマイコンボードの名称です。はんだ・配線が必要なく、縦横自由に組み立てることで、さまざまなセンサを扱うことができます。ぜひ、自由研究をする親子から IoT を学びたい社会人の方まで使っていただきたいプロダクトです。

④線香花火 × ベッドライト 1日の終わりに灯る光「HITARI」

就寝時、線香花火の光をモチーフにした明かりを灯すプロダクト「HITARI」。部屋の電気を消すと自動で光を灯し、1分ほどでポトッと火種を落として消灯します。自ら儂い光を灯し火種を落とす HITARI は、1日の終わりを感ずるきっかけと心が安らぐ瞬間をつくるプロダクトです。

◆ デザイン工学部システムデザイン学科の取り組み

システムデザイン学科の学生は、デザイン、テクノロジー、マネジメントの3分野を有機的に結合し、コンセプト提案から機能実装、プロダクトマネジメントまでを総合的に学んでいます。本学科には、プロダクトデザイン・インタフェースデザイン・機械工学・電気工学・情報工学・計算工学・生産工学・経営工学など多彩な分野のエキスパートである教授陣が揃っています。本プロジェクトでは、これら教授陣の総力を結集し、各分野の深い知識をベースにして、その専門性に縛られることなく、相互に密なコミュニケーションをとりながら、学生たちのアイデアやサービスを核にして、それを実現するための機能実装の方法や具体的に製品化するまでのマネジメント手法を PBL 科目の中で指導しています。

◆ 授業作品をプロダクトとしてクラウドファンディング化するプロセス

システムデザイン学科の4年次(春学期)に開講している PBL 科目「応用プロジェクト1・2」では、学外のコンテストやクラウドファンディングに出品できるよう本格的な製品に向けた開発を行っています。応用プロジェクト1では、プロダクト・アプリケーション・システム、あるいはサービスなど、学生がアイデアを創出し、そのアイデアについて顧客対象者、背景、類似品等を調査し、新規性、有用性、娯楽性、社会性のある企画を提案します。

応用プロジェクト2では、有志によるチームを結成し、応用プロジェクト1の中で選出されたアイデア企画を具体的に実現します。優秀な作品に対しては、各種コンテストへ応募や実際のクラウドファンディングに掲載することを目指し、学科が知識供与や予算などの面でバックアップしています。

◆ CAMPFIRE について

国内 No.1 のクラウドファンディングプラットフォーム「CAMPFIRE」(キャンプファイヤー)を2011年より運営。CAMPFIRE はあらゆるファイナンスニーズに応えるべく、“資金調達の民主化”をミッションに、個人やクリエイター、大学、企業、NPO、地方自治体など、様々な挑戦を後押ししております。これまでに9,000件以上のプロジェクトを掲載し、プロジェクトに対する総支援者数は約32万人、流通金額は34億円に達しました。